

国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業

(報告)

団 体 名 : 日本生活協同組合連合会

【開催趣旨・目的】

昨年日本で開催された WLN より、女性の活躍には身近なロールモデルとネットワークをつくるのが重要だと学びました。地域、NPO、生協など、様々な分野で活躍されている女性たちにお集まりいただき、活動や事業を通してどんな地域づくりに参加されているのか、どんなキャリアを積み上げてこられたのかについてお話しいただきました。

【シンポジウム等の名称】

日本生協連中央地連 第3回男女共同参画懇談会

経済活動に携わる女性の活躍・役割

～働く、創る、学び研究する、経営する 女性たちのメッセージ～

【日時】 平成 23 年 2 月 3 日 (木) 13:30~16:30

【場所】 東京・渋谷 日本生協連「コーププラザ」4F

【参加者数】 104 人 (生協 84 名、内閣府 1 名、その他自治体等 7 名、講師・パネリスト 3 名、日本生協連 9 名)

【プログラム】 (別添チラシ参照)

【参加者からの主な意見】

- ・ 生協だけでなく、様々な団体と連携してポジティブアクションをすすめていくべき。
- ・ 自分のやりたいことではなく、困っていることや求められていることに目を向けると自分のやれることが見えてくるというお話しは今後の活動のヒントになりそう。
- ・ 組織を見つめ直し、自分自身を見つめ直すヒントにもなった。自分のスキルの「たな卸し」をしてみようと思った。
- ・ 地域コミュニティづくりに生協がもっと役割を発揮することが必要。



【シンポジウム等を通して得た成果（効果）】

國井秀子氏の講演では、日本企業におけるジェンダーバイアスの問題について、女性の少ない IT 業界で活躍されてきたご自身の経験をふまえ、企業の中で女性の登用が進まない問題についてご報告いただきました。企業で働く人材を多様化



するためには、女性社員へのキャリアプランの作成やロールモデルの提示とともに、トップダウンの経営戦略や上司の意識改革（優秀な女性を部下にして成功事例をつくる）が必要だと教えていただきました。

パネルディスカッションでは、立場の異なる4名の女性からご自身の経験を中心にお話しいただきました。NPO法人を運営されている日置真世氏からは、自分が困っていることの情報発信してニーズを可視化し、人とのネットワークによって解決につながっていくこと、まずは自分のできることを探し、やってみることが大事ということを力強くお話しいただきました。



生協の組合員理事の経験を経て、ジャムの製造・販売会社を起業された橘和子氏からは、50歳を過ぎて自分のスキルの「たな卸し」をしたことで問題意識が生まれたことや、起業の際の経済的リスクを女性自身が背負うことの覚悟について教えていただきました。

組合員理事から理事長になられた平野都代子氏は、組合員理事は「くらしの視点を持つ理事」として専門性を生かさなければいけないということや、パルシステム千葉では地域の一員として役割を果たせるよう「コミュニティ生協」をめざしていることのご説明をいただきました。

最後に、現役生協職員である根岸公江氏からは4人のお子さんを育てながら働いてこられたのは先輩職員や組合員の励ましがあつたからという体験談や子育てをひとりではなく地域や職場ですていくことの大切さを学びました。

【今後の課題】

- ・ 他企業や他団体と連携を強化するために、情報交換や交流をおこなっていく
- ・ 現在も一部生協で実施されている「起業塾」の取り組みを全国に広めていく

第3回男女共同参画懇談会実行委員会より

APECWLN会合でのテーマ「女性と経済活動」をもとに、第3回男女共同参画懇談会を企画しました。内閣府、男女共同参画推進連携会議、日本生活協同組合連合会中央地連の共催で開催いたします。

実行委員会では、WLNのサイドイベントや、パブリックビューアーに参加しました。生協においても、これからもっとも、若い世代も含めて女性・男性が、「ロールモデル」(キャリアを築いていく上でのよい事例、目標にしたい人)と「ネットワーク」をキーワードにいろいろな場に参加して活躍してほしいと思いました。

今回の懇談会では、地域で、生協で、NPOで活躍されている女性たちから、それらの活動や事業をおして、どんな地域づくりに参加されているのか、どんなキャリアを積み上げてこられたのかなどについてメッセージをいただきます。

日置真世さんの著書には、「誰にも、きつとやるべきことがある。そして誰にもきつとできることがある」とありました。自分の足で立つこと、地域で市民としての力をつけること、5人の女性のそれぞれのメッセージが、きつとわたしたちの次の一歩を元気づけ後押ししてくれると確信しています。



《実行委員》

河野 康子(いばらきコープ 理事)
平野 都代子(パルスシステム千葉 理事長)
亀島 ノリ子(パルスシステム東京 理事)
丸山 善弘(神奈川県生協連 専務理事)
川田 慶子(コープかながわ 理事)
田中 ひとみ(さいたまコープ 理事 男女共同参画懇談会代表)
上原 正博(コープとうきょう 理事長、同懇談会副代表)

国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業
主催：内閣府、男女共同参画推進連携会議、日本生活協同組合連合会中央地連

日本生協連中央地連 第3回男女共同参画懇談会

経済活動に携わる女性の活躍・役割

～働く、創る、学び研究する、経営する 女性たちのメッセージ～

日時：2011年2月3日(木) 13時30分～16時30分
会場：東京・渋谷「コーププラザ」4階

【プログラム】

13:30 開 会
開会挨拶 田中ひとみ(男女共同参画懇談会代表、さいたまコープ理事、日本生協連理事)

13:35～14:25 講演「日本企業におけるジェンダーバイアスの現状と施策」
講師：國井秀子氏
リコーITソリューションズ(株)取締役会長執行役員
元2010APECWLN実行委員会副実行委員長

14:35～16:25 パネルディスカッション
テーマ
「経済活動に携わる女性の活躍・役割
～働く、創る、学び研究する、経営する 女性たちのメッセージ～」

《パネリスト》

日置真世氏
北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター助手
NPO法人地域生活支援ネットワークサロン理事・事務局顧問

橘 和子氏

有限会社ウィワイ 取締役社長

平野都代子氏

生活協同組合バルシステム千葉 理事長

根岸公江氏

生活協同組合さいたまコープ 参加とネットワーク推進室 課長

《コーディネーター》

丸山善弘氏

神奈川県生活協同組合連合会 専務理事(第3回男女共同参画懇談会実行委員)

16:25 開会挨拶 上原正博(男女共同参画懇談会副代表、コープとうきょう理事長、日本生協連常任理事)

16:30 閉 会

APEC WLN(アジア太平洋経済協力 女性リーダーズネットワーク)会合が開催されました。(9/19～9/21)

WLNは、参加の21エコノミー(経済圏)の産業界・学界・行政・民間団体の女性リーダーからなるネットワークで、男女共同参画社会の実現のために女性たちが経済活動の発展に寄与することを目的としています。
日本初開催の今回は、「女性による新たな経済活動の創造～人、自然、文化を活かす～」というテーマのもとに、3つの基調講演、3つのパネルディスカッション、6つの分科会において活発なディスカッションが行われました。

《講 師》



國井 秀子(くにい・ひでこ)氏
リコーITソリューションズ(株)取締役会長執行役員

お茶の水女子大学大学院理学研究科修士号、カリフォルニア州立サンノゼ大学電子工学科修士号、テキサス大学コンピュータサイエンス学科Ph.D.取得。1982年(株)リコー入社以来2008年まで同社のソフトウェア分野の研究開発責任者。同社常務執行役員を経て2008年から現職。(社)情報サービス産業協会(JISA)理事、総務省情報通信行政・郵政行政審議会委員、文部科学省科学技術・学術審議会委員、(株)産業革新機構産業革新委員、男女共同参画推進連携会議議員(内閣府)、元2010APECWLN実行委員会副実行委員長、日本学術会議連携会員、日本データベース学会副会長などを務める。

《パネリスト》



日置 真世(ひおき・まさよ)氏
北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター助手
NPO法人地域生活支援ネットワークサロン理事・事務局顧問

「マザーゲースの会」発足や「療育サロン」開設、障害児の相談などの子育て支援事業、高等学校卒業後の障害者の就労場所や作業所の開設などに携わり、「地域のことを願う一人ひとりの出番をできるだけたくさん作りたい」と活動しています。釧路市を中心に事業所やサロンを作っており北海道で一番大きいNPOです。平成22年度内閣府「女性のチャレンジ賞特別部門賞」、「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2011」のリーダー部門(総合4位)を受賞。近著に「おいしい地域(まち)づくりのためのレシピ50」。

* * * * *



橘 和子(たちばな・かずこ)氏
有限会社ウィワイ 取締役社長

生活協同組合の理事から、その後「起業塾」の受講生第一号として5年前に起業。東京の着飾柴又で手作リジャムのお店「ママのじゃむ」を2008年にオープンしました。「起業塾が心強さと安心感で支えてくれました」と語っています。

* * * * *



平野 都代子(ひらの・とよこ)氏
生活協同組合バルシステム千葉 理事長

98年生協エル(当時)理事を経られ、2004年から理事長。生活協同組合のトップとして、さまざまなくらしの課題にも、地域や市民運動と連携しながら取り組んでいます。

* * * * *



根岸 公江(ねぎし・きみえ)氏
生活協同組合さいたまコープ 参加とネットワーク推進室 課長

86年入協。店舗チエッカー、個配営業、組合員活動部、人事教育、男女共同参画担当などを経て、子育てしながら生協で働く女性リーダー職員として、地域のネットワークの中での生協の子育て支援などに取り組んでいます。

* * * * *

《コーディネーター》



丸山 善弘(まるやま・よしひろ)氏
神奈川県生協連 専務理事

実行委員としてコーディネーターを務めます。女性たちが大事に作ってこられたそれぞれのステージからのお話を楽しみにしています。